

蘭

於集電腦女流詩人
交流向上百花繚乱
詩的空間月每更新
隨時求新同胞以愛

Web 女流詩人の蘭の会
http://www.os.rim.or.jp/~orchid/
http://www.os.rim.or.jp/~orchid/
V1576(税込み)
発行：詩字社
アンソロジー 装丁：RADIO DAYS ココロームでも好評販売中

就労支援カフェ事業インターンシップ。アートの現場で働いてみよう!!

PPPP.CBN.cocoroom booking night ブックマンネージャー募集!!

出来る事から動かしてゆく
動かしながら考える
アートマネージメントの第一歩へ

ココルームカフェも
スタッフもどむ

※cocoroom@kanayo-net.comまで

Cocoroomでは、寄付をつっています。
運営のための寄付をつっています。ご寄付いただいた方には、お名前を「ぼえ犬通信」に掲載させていただきます。3000円/1口 何口でも結構です。
宮前さん様/グラマーユミコ様/アサイサトル様/アキタカズ様/田中乗子様ありがとうございました。

三井住友銀行 天王寺駅前支店 普通1585265
トクテイエイリカツウホウジコトコトバココロムヘヤ

郵便振替 記号01090-5-48059
cocoroom代表 ウエダカナヨ

むすびプロジェクト

素直一束運動
ご協力ありがとうございました!

「むすび」とは/これまでココルームでとりこんできた「reading THE BIG ISSUE 大阪・紙の芝居劇場」第二回三回に出演し、笑いと感動をあたえてくれた紙芝居劇のおじさんたちの集まり。平均年齢74歳。*一緒に紙芝居をやってくれる仲間*絵を書いたり、道具をつくりたりお手伝いをしてくださる方*事務所を訪れてメンバーと気軽に話してください。
ブログ: <http://musubiproj.exblog.jp/>
※紙芝居・金ヶ崎見学ツアーの申込みはココルーム むすびプロジェクト係

cocoroomが ますます使いやすくなって 劇団バック「co屋」

co屋5日間パック(木金土日)15万円
co屋4日間パック(木金土日・金土日)13万円
co屋3日間パック(金土日)10万円
co屋2日間パック(土日)8万円
1日利用の場合:5万円/1日(夕方17:00からの使用は3万円)
info:ココルーム tel.06-6636-1612
tel&fax06-6636-1662
cocoroom@kanayo-net.com
担当:飯島、阿佐田、上田、剣(つるぎ)

- *ステージ数問わず一律料金
- *使用時間10:00~22:30 *仕込・ばらし含む
- *月曜は18:00まで*機材管理料含む(音響スタッフはつきません)
- *稽古使用は3万円*その他の曜日も可
- *お客様には入場の際1ドリンク(500円)別途必要
- *情宣協力いたします!

- キャバ椅子席:60 ●舞台スペース6×6m
- 音響システム完備 ●照明:調光3系統(店舗用)
- 定める使用規定にもとづいてください。
- くわしくはココルームまでお問い合わせください。

■新世界アーツパーク <http://www.sap-s.jp>
パーティー依頼/ココルームでフライヤーやフリーペーパー配布協力いたします。また、「ぼえ犬通信」を配布させていただけるお店の方、ご連絡下さい。

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

ココローム

zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
<http://www.kanayo-net.com/cocoroom/>

※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩5分
※南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
※阪堺電軌鉄道「南霞町駅」下車 徒歩すぐ
※駐車場(有料)

ぼえ犬通信 15 特集 自分の仕事をつくる <http://www.kanayo-net.com/cocoroom/> ぼえ犬通信 第15号 2005年9月15日発行 編集・発行 特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋 2005 © cocoroom All Rights Reserved

ぼえ犬通信

FREE
ココローム 犬...
特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋
<http://www.kanayo-net.com/cocoroom/>



vol.15
2005.9.11

「自分の仕事をつくる」

仕事を「探した」ではなく「つくりだした」10人の話

就労支援
カフェ
ココルーム
営業開始!

03 | 特集：自分の仕事をつくる

- 03 | 木村泰子 (デザイナー・アートディレクター)
- 03 | 金友祐人 (浪速自転車)
- 04 | 桧垣文江 (アーティスト)
- 04 | 石橋友美 (自然社会人)
- 05 | 宮本直樹 (住職)
- 05 | 飯島秀司 (音楽家)
- 06 | 小川恭平 (キョートット出版)
- 06 | 広畑典子 (カフェ「太陽の塔」オーナー)
- 07 | 橋安純 (野宿生活者パフォーマー)
- 07 | 上田假奈代 (詩人)

08 | 連載コラム

- 08 | 浪速自転車コラム
- 08 | 飯島秀司 ライトハウスレポート第3部
- 09 | 加久裕子 最後の日
- 09 | 阿佐田巨 日常再編集 もーれちゅ! マウス絵道場 today's
- 10 | 阿佐田巨 CHIMES
- 10 | 上田假奈代 ライブラリよりわたしの一冊
- 11 | 剣樹人 どうでもいいことある記念の瞬間

12 | スケジュール

表紙写真：駒野
西成区にはシェルター(緊急避難所)がふたつあります。この写真はそのうちのひとつ。三角公園の前にあり、早朝あいりんセンターで配られるチケットを手に入れた人だけが泊まれます。



カフェスタッフ駒野さんの初個展&ごみひろいイベント!

project 「ニチジョウソウイ」

ひとりひとつのニチジョウ。それぞれに今を生きている。ふと見回せば、街中には沢山のゴミが。わたしたちの見えない風景として。
新世界・西成の街ではゴミを拾うことが路上生活者の仕事として、日常の一部へと再生されているように思います。けれど、わたしたちの考えるゴミと彼らの考えるゴミ、その間には意識化される前の断絶があるような気が、わたしはするのです。
わたしたちの間にある「ソウイ」(※)を映像・写真・文章で展示し、実際の体験として、新世界と西成の街をゴミ拾いで歩きます。
(※)ソウイ
相逢・・・ふたつの物・事の違いがあること
創病・・・刀などで受けた傷 精神的な痛手
創意・・・これまで誰も考えつかなかった考え
新しい思いつき
総意・・・全員の意見や意志

- 展示project「ニチジョウソウイ」
□2005年11月21日(月)~12月4日(日)
□映像と写真と文章でつなぐ人と人。10代の視点でとらえた新世界と西成。
「ゴミひろいアンケート」集計結果もはっぴよっつ。
■イベントproject「ひろい・ひろい・ゴミひろき」
□2005年11月27日(日)
AM9:00フェスティバルゲート正面ゲート前集合。
□コルムから半径1.5km以内の範囲のゴミ拾い。拾いまくります。
□主催とお問い合わせ：ニチジョウソウイ実行委員会
lalalalan@hotmail.com(コマ)
06-6636-1612(コルム)

火山島

区切られた影があり
その線をはさんだ光がある
足をあげた瞬間に 大地をはなれ
重力のかうまく 踊ることもできず 着地する
ふりつもの床に
いいものも わるいものも ふりつもつてゆく
101号室は引越をしていた
掃除機に使用古されたみどりのタンズやちいさな食器棚が置かれた
101号の松島さんの家族を見たのははじめてだった
黒猫のいない101号室の敷居の外に
体温をおもわせる陽があたっている
赤い首輪の配着で 爪の先をのぼして 誰かを呼んでいる
地面が呼んでいる
いいものも わるいものも ふりつもつて
いつも支えてくれているね
地面に手をあてて
撫でて撫でて
いつも 踏んづけているね
足の小指をつたって 地面の奥深くへ
砂の ひつつぶと ひつつぶをつたって
火山の眠る世界のせなかまで
両手を楯をつまんで 足をあげて 世界をかきわけ
木のように 枝をのぼし 根をのぼし
重力にしたがい また足をのぼす
着地する瞬間に 光がさしこみ
花粉のような 鳥のはねを
わたしはみた
ねむる火山島の地面に
ふりつもの おぼさんの、
死んだおぼさんの、
ふりかえったおぼさんの、
名を呼んだおぼさんの、
手拍子をしたおぼさんの、
花に水をあげるおぼさんの、
いのちのあるおぼさんの、
今はいのちのないものも、
誰かの、
ねむる火山の
時間のはねを

特集

?自分の仕事をつくる

デザイナーになる方法

木村泰子(デザイナー・アートディレクター)

デザイナーになることはとても簡単です。これを読んでいるあなたも、名刺を作成することができ、「デザイナー」という肩書きを名前の側にレイアウトすることができたとすれば、今日からあなたはデザイナーになることができます。私も12年前のある日、入社した会社からデザイナーと書かれた自分の名刺をもらってから今日までデザイナーです。なので私はこの事実を前提にある提案をしたい。もしあなたがデザイナーになりたいなら、まず自分の名刺を作ってみて欲しい。そして思い切って知り合いに配ってみましょう。自信がなければ最初は身近な人、家族や友達から配れば年賀状を頼まれたり、名刺やもししたらフライヤーを作ってほしいと頼まれるかもしれません。それを自分なりにデザインし、相手を満足させることができれば、あなたはすでに立派なデザイナーの一員になってしまおうでしょう。しかしここで大事なことが一つだけあります。それは自分のデザインに対して「もっと良くできないのか」と自分で問いかけることです。
デザインの世界にはデザインをはかる資格などありません。また、デザイナーが何か特殊な能力を持って生まれなければならないと思うのは勘違いだと思います。現に私はごく平均的な家庭に生まれた凡才。けれど今日までデザイナーという肩書きを持ち続けることができました。そして私は自分の思うようなデザイナーになりたいと今日も思っている。大先輩から比べれば、あなたも私も同じ、本物のデザイナーになりたいと目指している人間の一人にすぎないのです。お互いががんばりましょう。



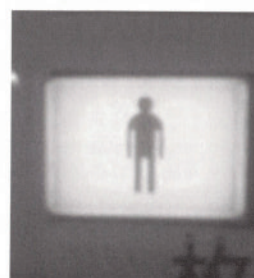
木村泰子

1973年兵庫県に生まれ。1993年よりデザインプロダクション及び事務所デザイナー、アートディレクターを勤める。2004年、何ごとにも鮮やかでありたいと願いを込めアザデザインを設立。現在に至る。

出会い系「働く」わたしの経緯について

金友祐人(浪速自転車)

出 会い系です、わたし。「出会い!」これしかないです。働く→仕事する→お金を稼ぐという事のきっかけとしましては人や事象との「出会い」です。大学時分にアルバイトしていた時も卒業して就職した時も、cocoroomで働く事になった時も、浪速自転車!自転車をつくるんだという事になった時も、実用車とよばれる市場のおっちゃんに乗っている自転車とおっちゃんとの出会い振り返ればまず出会いがあって成立した事だと。マジでついで。しらんまにそこにつっこんで!!興味があつたくなかった事、例えばダルいこと→働くことにしても自分の興味が芽生えてくるという事もあります。なんですかこれはオモロいやんと思える事象なり人と「出会い」を通して知らないうちに、ダルい事も自分なりにオモロくとりこめていく内に働いてる、前職会社員ネクタイ締めてるけどブルーカラー、花卉(カキ)業界で働いてました→お花?花なんか知らん。可愛い!?そんなもん訳わかんねえよ、ダルい→けどやならんアカン、これ仕事(なんかしらんけど義務みたい)→お、なんですかプラントハンターやってる卸業界の愛人の存在(わたしの琴線をちょ〜きんぐ、発見)ワシントン条約ひっかけちゃう様な植物こっそり鞆の奥にしまいこんで国内もって帰ってくるらしい→そこ、オモロいやん(けっこうやばい)→しらんまにやってます(やってません!法律違反。働いてましたまじめに、わたし)というのがこれもまた私の働く経緯です。働くこと→まるで遊んでるような状態を目指して出会い系を大切にしようっと。



金友祐人

浪速自転車 やってますかねともまきひと市場なんかで使用されている実用車、運搬車とよばれるごつい大きな荷物に乗せて働く自転車に注目し、その良さを残したかっこええ自転車をつくってます。

自分の仕事をつくる

桧垣文江(アーティスト)

私は今年7月21日から学童保育所の先生をしている。夏休みからスタートして、小学生の子どもたちと嵐のような日々を送っている。学童とは共働きや親に事情がある場合に一時的にあずかる安全な託児所である。ひきこもって絵を描いていた私が、今は15・6人分の給食を作り、スポーツをしたり大声をほり上げていく。毎日のカリキュラムを作成し、自分の教えられる芸ネタがなくなってしまうほど。近頃はバイトのモンゴル人の学生さんにモンゴル民謡などを指導してもらっている。

「環境は人を変えてくれる。」と最近つくづく思う。転職してまだ一ヶ月。いっぱいはいっぱいの生活の中で自分でも驚くぐらい性格までサバサバしてきた。一人で居酒屋に入ることもなかったのに、今では仕事上りのオヤジに紛れひとり酒三昧でお店に通う。しまいにはパティングセンターに行って憂さ晴らしをする。きっとこれが本当の開かれた私なんだろうなと思って

る。子どもを相手にする仕事は理屈を超えた精神の格闘だ。出勤前にロックを聴いて魂の爆発をイメージして行く朝もある。毎日同じことを叱る。叱る側が疲れてしまっただけでは負けなのである。嫌われても間違っていることを分けるまでデコでもここを動かんと明確な覚悟がいる。最初は叱ることができずに、何と言えれば分かってくれるんだろう・・・と悩んでいたが、上手く叱るうなんて思わずに、今ここで伝えなきゃいけないんだという思いが強くなった。それでもまだまだ自信は言いにくい。私が自信を持って教えられるのは長年やってきた美術である。影響を受けやすい年頃の子どもたちは一人の子を褒めるとみんな真似をしたがる。モノの影を描いていた子に注目すると、一斉に影ばかり描き出す。影が脇役ではなく主役になっていたのには笑ってしまった。それでも、今まで影を見ていなかった子が、すべてのもに光と影が存在していることに気づいたことは大きな収穫なのである。時間や場所によって同じモノでも違いがあることを発見してもらいたい。発見することによって面白さが生まれる。

今の職場に辿り着くまでに2年間ホームヘルパーとして働きながら作品を発表してきた。仕事は福祉系。さわやかさを売りにしていたが、髪の毛を素材としたシュールな作品のため、仕事関係の人はギャップを感じているようだった。ヘルパーの仕事はどちらかというと受身的で、介護者の手となり足となりお手伝いし、自分を出さないようにする。プライベートでも依存型傾向になっていて彼氏からメールの返事が来ないことばかり気にするつまらない女になっていた。そんな自分が嫌で嫌で仕方なく、積み重なるとストレスになり、もっと自分を出せる仕事に就きたいと、いつしか思うようになっていた。ある日ハローワークに行き、2日での今の職場と出会えた。自分でも驚くような本気の行動力だった。

もともと大学卒業してから「作品作り」と称して今と言う二つの時期もあった。その頃は動くことに意味を見せず「困った時は他人が何とかしてくれるだろう」と。でもこのままじゃ画材も買えなくなってきてしまう、と思い、仕事を始めた。アーティストとして社会に思いをぶつけているが、どこかでそれは「仕事が上手いかわくく」と私にはアートがある」と逃げ道を作っていたんじゃないかと振り返って思う。今はアーティストとして先生であり、先生としてもアートは必要だと思っている。いつでもどこでもすべてに格闘していきたい。そうじゃなきゃ本当の自分には出会えない。まだまだ知らない自分を発見したい。

桧垣文江

1978年大阪生まれ。1999年奈良芸術大学美術科卒業。2001年大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業
個展/2002年画廊編/2003年0ギャラリーeyes/2005年cocoroomグループ展/2000年TRUE2000(グランドギャラリー)
/2002年Art Cross Beginning(Peppers Loft gallery)

抽象と具体のバランスが見えてきた

石橋友美(自然社会人)

物事は点と線でも、円でもなく立体的な球だと思っている。そんな視点で仕事のことも考えている。会社の面接とかに行くと「抽象的」と判断される類の人間だ。しかも諦めたくないことはなるべく諦めない。就職していたとき、時間・人間関係、やたら自己犠牲的な「仕事」に疑問を強く感じた。「お金のためだ」と割り切るうとした時期もあった。決まった時間に出だし意味がなくても机について形式に多くの時間を費やすよりは、誰のせいにもしていない自分で決めたことを迷わずやりたかった。

釜ヶ崎の紙芝居おじさんたちが困っているというのでコロンムから派遣されるかたちで 現在週2日彼らのところに通っている。紙芝居がもっと上演され、おじさんたちが輝き、あわよくば周囲を照らせたらとお手伝いしている。しかし逆におじさんたちから学んでいるのは戦争や路上生活を乗り越えて社会の中で生き抜く力。主にそのスピリット。それを活かすのにどこまで手を加えなくて仕事が成り立つのか。どこがミニマムな妥協点なのか。ルールは簡素に発想は豊かに、いびつな社会の中でいろんなスピード感のおじさんたちとひとつのことをするにはポジティブな心の接点で均衡をとるしかない。姿勢が定まって使える道具さえあれば入口は一つではない。あとは出会い。

わたし個人にはまだ使える道具がない。今まで中途半端にやってきたことを育み熟成させる作業が必要だと思う。趣味の日本舞踊は毎月月謝を払うだけの自己満足的な趣味に終わりにたくない。基礎が身についたらまずは福祉施設慰問などのボランティアをして道をつくっていかうと思っている。あと自分が今までの海外経験で必死に身につけた英語は全く中途半端。しかし現在翻訳のインターンを通してコソコソと育てている。また家庭菜園を一步脱却して友人と土地を借りた。実は本望の農作業も経験していくことになる。今やっていることを少しずつグレードアップしていく。理想は畑を耕しながら翻訳業をし、日本舞踊でも活動し、目の前の社会問題に取り組む、そんな生活だ。

その生活の前提として、いろんなことをしていても自分を見失わないように、自由とバランスを取るために、家庭の規則正しさも重要視している。



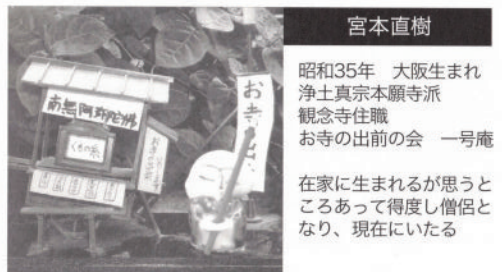
石橋友美

鳥根県出身。自然に生き社会に俗したい彷徨い人。

『お寺の出前!』、「お寺が出前?」

宮本直樹(自職)

『私』たちは僧侶です。医療や福祉施設など、ご注文をいただきましたら、ボランティアで僧侶を出前させていただきます。メニューは仏教紙芝居・ハーモニカ演奏・そして法話や質疑応答などです。ラーメンを注文するような気軽な気持ちでご注文ください。」と銘打って、5年前から友人僧の大崎信久氏とふたりで『お寺の出前の会』という活動を始めました。そしてこれまでに、約二百力以上の施設や病院などを回らせていただきました。最近では子供会やライブハウスなどからもお声がかかり、訳がわからん状態になってきましたが、それらがチャリティー活動や社会福祉の為になると思われるイベントならば、なるべく出前に行かせていただいています。ではなぜこのような事を思いつき始めるにいたったのか? イカッかもかもしれませんが、それは私達の仕事をもって悩める人の為に役立てたいと考えたからです。私たちイコールお葬式業とイメージされやすいですが、仏教は生きている者の悩みを解決する為にできた宗教です。病院や施設におられる方々は、日常生活の倍ほど悩みが多いはず。そういつた時こそ我々が必要だと思ひ、医療福祉世界へ正面から「心のケアの実践をさせて!」と入ろうとしましたが、現実はその甘くありません。「お寺はお経をあげたらええねん。」と無視されました。信頼関係の構築がまず、そしてそれよりも前にまず私達の存在自体を安心して知ってもらわないといけなと考へ、そこで直球勝負ではなく『お寺の出前、屋台をひいて紙芝居の出前』とユーモア変化球を使い宣伝ちらしも作り、口コミからスタートしました。「お寺の権威に傷が付く」とも仲間内からも言われましたが、しかし継続は力、そして大衆は味方。長く続けているとファンも増え、医療福祉社会にも友達もでき、我々も楽しい! マスコミもサポートしてくださり、今では僧侶の学習会にも呼んでいただけるようになりました。そう今ようやく『お寺の出前』が『お寺へ出前』という試みも始まったのです。長くなりましたが、最初にも述べたように『お寺の出前』が今、いろんな所から注文をいただき、戸惑いながらも社会の様々な問題を考える良い機会をいただけたと喜び、且つさらに一皮剥き勉強したいと考えております。もし、これを読まれた方の中で心のお腹が空かれ「それやったらうちにもいっぺん来てほしいわ」と思われましたなら、ご連絡ください。僧侶を出前いたします。



宮本直樹

昭和35年 大阪生まれ
浄土真宗本願寺派
観念寺住職
お寺の出前の会 一号庵

在家中に生まれるが思うところあって得度し僧侶となり、現在にいたる

「自分の仕事をつくる」という新しいこと

飯島秀司(音楽家)

今月の2日で、38歳。アルバイトと含めるとホント色々な仕事をしてきたなあ。数えてみたら、なんと23職種。ちょっと人には言えないのもあったりして。

皿洗い、本屋の店員、水道設備屋、警備員、イベント設営、工場作業員、検体、交通調査員、ティッシュ配り、コンビニ店員、ポストイング、PAオペレーター、現場作業員、清掃員、ルート配送、(売れない)ミュージシャン、ヒモ(?)、設備会社の営業員、某ビジネスディストリビューター、ポン引き、キャバクラ副店長、システム会社の営業員、cocoroom運営スタッフ。

あらためて振り返ると、自分は仕事についてホトホト苦しんできたのだなあ、と思う。求職情報誌を買い求める時の、あの何とも言えない行き場のなさよ。

30歳の時にはじめてサラリーマンになった。それは若い頃一番なりたくなかった営業職だった。はっきり言って選択できる年齢を越えてしまっていた。名刺の渡し方ひとつ知らない30歳の新人営業マンなんて箸にも棒にもかからない。だけども一番なりたくなかった仕事で一番勉強させてもらったように思う。過去にしていた仕事の経験が今とても役に立っている。経験とは財産なのかしら。

cocoroomには、沢山の悩みを持った人たちが訪れる。よくよく話を聞いてみると、悩みの大部分が仕事にまつわれる事柄であったりする。襟を正し、きちんと対応しなければならないと思う。仕事は人生の一大事。仕事とはその人の居場所でもある。そして私もまた仕事について悩みつづける者のひとりであることを自覚するのだ。

私はかつて、仕事とは自分の時間の切り売りであると思っていた。上田假奈代は言う、「自分で自分の仕事をつくるよ。お金にならないことも全てが仕事だから手は抜けないの」と。その度に私は少しドキリとしてしまう。様々な仕事を転々としてきた私にとって、「自分の仕事をつくる」ということばは、聞く度に、全く新しい概念に出会ったような気がするのかなのです。



飯島秀司

大阪府出身。音楽家。cocoroomスタッフ。なにわのコレオグラファー・北村成美とのふたりミュージカル『虹のうた』を12月に上演予定。読歩project、ほうきぼしprojectなど、アウトリーチ活動も展開中。

キョートット出版

小川恭平(キョートット出版)

今回、キョートット出版、起業ということになるんだと思う。でもまだ、やりながら知ったり感じたりしている、それもたくさん&急に、なので、とても文章にできやしない。なので、断片的に言葉を。


一日営業に出ると、一回は良いこと心に入ることがあります。最後のほうで、が多いので、ハッピーエンドの営業。
営業が面白いということは、社会は面白いということ。本は出版社と書店が協力して売れるもの。この本売ってみようかと書店員さんと心が通じるとうれしくなります。そして、本屋さんはいい仕事だなと思うことも多く、私も本屋さんになってみたくなる。
紀伊国屋に負け、ジュンク堂に救われる、三宮、梅田、京都、三都物語。

作品ではなく商品を。いや、作品であり商品であり。作家や著者は作品をでがンばるので、編集者は商品をでがンばらなくてはいけない。私はアーティスト癖もあり、商品、お客さんに手にとってもらうもの、という視点をなかなか持てない。知り合った、編集者が言っていたことの要点がこのこと。(現場である書店にいき、書店員さんの視点から学びつつあります。)

一人で全部やると思った。とても勉強になる。そして、ひとりでは出来ないこともわかってくる。

7年前考えていたのは、社会にいるんな風に球を投げてみたい、ということ、でもそれでは、適当にファールにでもされるだけ。
5年前キョートット出版立ち上げで考えたのは、一番隅でいいので社会に引っかかれなかな、ということ。つるつるっしてただけで、またとかひっつかれるようになったので、球をなげてみたいな(打ち返されたり、投げ込まれたりも、球ひろいも)と思っています。

このようなやり方で300年の人生を生きていく



小川恭平
小川でつオ著「このようなやり方で300年の人生を生きていく」、キョートット出版より絶賛発売中!
9/24(土)にココルームでイベントを行います。詳しくはスケジュール13ページを。

小川でつオ

なぜこの仕事を選んだのか

広畑典子(カフェ「太陽の塔」オーナー)

学生の頃からインテリアに興味がありました。それで美術の大学に進学し、ディスプレイのバイトなどを経験しつつも、インテリアに関係したいというだけでやりたいことは漠然としたまま就職活動をしていました。
そのせいか、どうもこれだ!という職種は見当たらず、本当にやりたい仕事って何だろうと考えて、「自分の働く場所を自分で作りたい」つまり自営というものに行き着いたわけです。決心は固く、即就職活動をやめ、とりあえずお金を貯めないと、とハードなバイト生活をはじめました。その頃はまだカフェとしぼったわけではなく、あくまで内装作りをしたいという安易な考えでしたが、その中で自分に向いているもの、できることで考えた結果、このカフェという仕事に辿り着いたのです。
大学卒業後は、ただただその仕事のためのお金稼ぎとカフェめぐり、経営を学ぶことに時間を費やし、二年後ようやく夢が実現しました。

一年目は、これがやりたかったことなんだと楽しく過ごしましたが、二年目になって、これで満足してしまっただろうか、とか、はたして一番やりたい仕事ってこれなんだろうかと考えるようになりました。それから、人に「やりたいことをやってるからいいよね」といったことを言われる度、そうなんだろうかと逆に落ち込む日々が続いたのですが、ここへ来てはじめて、やりたいことをひとつ叶えた自分は、次のスタートラインに立ったんだと気付いたのです。

やり遂げるまでは、店をすることがゴールだと思っていたため、いざやり遂げてしまうと、先を見失い、途方に暮れていたのだと思います。スタートラインなんだと思うと肩の力が抜け、今は何をこれかからしたいのか?今の仕事をして、自分は他に一番興味・関心を持っているのか?自問自答しながら、ゆっくり自分の仕事というものを、自分自身満足のゆく形にしていきたいと思っています。

広畑典子



兵庫県出身。大学卒業後、飲食業経験を経て2003年、梅田中崎町にカフェ「太陽の塔」をオープン。
<http://www.taiyounotou.com/>

通天閣あおいで野宿

橘安純(野宿生活パフォーマー)

野宿を始めて八年目になる。今は公園の中に木造小屋を建てている。それで野宿と言っても家賃のいらない一戸建てに住んでいるのと同じだ。アウトドア生活だと思えば、自由に気楽な生活である。
「野宿生活」をテーマに詩を書き冊子を販売し、詩の朗読などを行っている。
八月に入り、ひさしぶりに「夫出し飯場(*1)」から日雇いの仕事に行った。一年の内ごく限られた期間、夏では七月下旬から八月には一件でも日雇いの仕事に行けるほど求人量が増える。私は普段、冷蔵倉庫の仕分け、パレット積みに行っている。「夫出し飯場」からは仕事に行っていない。朝五時前にセンターの外で飯場の車に乗る。飯場は伊丹でこの日、西成から25人の現金(*2)が来た。寮に入っている契約の人は18人だ。
この飯場は20年前にはよく来ていた。建物は増築されていたが昔の面影も残っている。朝飯は御飯、みそ汁とタクアンのみと昔のままだった。百五十円払って日雇雇用保険印紙を貼る。道路で待っていると業者の車が来て、私を入れて三人の現金が乗った。材料置場に行き、私は社員と二人で現場に向かった。
現場は中学校で校舎の内一棟がフェンスで囲まれ、耐震補強工事をしていく。新しく壁面を増やし柱を補強している。さらにエレベーターの新設もある。
今日は鉄筋で補強した基礎を土間の高さまでコンクリートで打つ。待ち時間が多く、五時までめいばいの仕事になった。
JR伊丹駅まで送ってもらう、賃金は九千円、その内から帰りの電車賃を出さなければならない。昔より賃金が下がっている。
今日はひさしぶりに良い汗かいた。仕事あるうちにポチポチ仕事に行かなくては、でも夏祭り(*3)もあるし…。いいわけしているうちに夏は終わって仕事はなくなり秋。

編集部注
(*1)飯場:一定期間の契約雇用における労働者の宿舎。通常は労働者の生活費が給料から引かれる。工事現場に隣接する「現場飯場」と都市部の「夫出し飯場」がある。
(*2)現金:一日契約、当日払いの就労形式
(*3)夏祭り:釜ヶ崎夏祭り。橘さんは舞台で朗読する。

橘安純



1989年釜ヶ崎で生活しはじめる。90年~95年「寄場詩人」を50号まで編集、発行。98年から仕事に行けなくなり、野宿するようになる。この頃から山頭火をまねた自由律俳句をつくりだす。00年天王寺公園内に野宿小屋を建てる。04年から朗読パフォーマンスが大好きになる。「朗読の仕事ください」
http://hexageon.cool.ne.jp/ikiru/ikiru_index.html

迷惑かもしれない仕事

上田假奈代(詩人)

毎日百通ほどの迷惑なメールが届く。日本の結婚率の低下、離婚率の上昇を嘆き、嘆くだけではなくアクションを起こしインターネットの力をかりて、出会いをサポートする仕事があるらしい。以下その文面の一部。
「出会いは少しでもタイミングを逃すと運命の人に会えない過酷なもの。そしてタイミングが大きく左右いたします。そんな方々に手を差し伸べ、サポートするのが私達当サークルのお役目だと思っております。」
なんか変だなと思う。運命の人に会おうの出会いでしょ。タイミングを逃して会えない出会いは、それこそが運命である。自分の人生を一所懸命生きていけば大切な出会いはやってくる。さまざまに出会いを積み重ね、人生はつづくのだ。
さて、このサークルのいう「出会い」を「仕事」に置き換えてみる。仕事はタイミングか。運命か。誰かにサポートされるものか。最初の仕事はタイミングかもしれない。けれどその継続がもたらす何かを主体的にとらえたときに、運命は変わる。仕事が仕事を呼んでくる。自分かいてくる。
基本にもどって、「出会い」を求めるところは自分の人生をよりよくしたいから。「仕事」を通じて望むことは「誰かの役に立ちたい」ではないだろうか。あくまで主語は「自分」であって、主語として生きるうえで、出会いはきっかけ、仕事はツールなのだと思える。この資本主義のもとで、人間性善説的なこんな考えは一笑されるかもしれないが、自分が生きているそのこと自体がたくさんの人の出会いと働きのおかげであることを思うと、一笑されても、そう信じるもん、と思う。今朝、地下鉄のプラットホームに電車がやってきたのは朝だからではない。電車をつくる働き、駅をつくる働き、電気を供給する働き、運転手さん、駅員さん、清掃する人、その人たちのご飯をつくる人など、教えられないほどたくさんの人の働きが数珠つなぎにあって電車はやって来る。
わたしは「詩人に仕事にしよう」として、ちょうど5年目になる。詩人の仕事というのがどういうものか分からないまま無我夢中でやってきた。今もおなじ。没個性な仕事人だ。お金持ちになったり、名が知られることを望んでるわけではなく、この社会に生きるひとりの人間として、信じることを行いたいだけだ。ところが情けなくも、わたしの仕事は、もしかして迷惑なんじゃないかと思うことがある。頼まれもしないのに勝手にやって、NPO法人になってスタッフまでいて、安い給与や時給で若者たちの人生を巻き込み、年上の人には相談もちかけて、迷惑がけなし。「有り難い」という言葉の意味をかみしめ、わたしは反省しながら、この関係性のなかで社会を学んでいて、毎日がこのうえなく楽しいのである。迷惑な仕事かもしれないけど、こんな面白い人生を誰かに代わりたいとは思わない。

上田假奈代



1969年奈良県生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。各種イベント企画制作、ワークショップを手がける。cocoroom・特定非営利活動法人こえことばとここの部屋代表、APM代表
写真: 森善之



浪速自転車コラム

かねともまさひと

200年後は飛行機と自転車の世界！いや間違いのない事実。生きてませんがわたし。かなり有力かつ信頼できる情報筋から得たネタなんですよ。

もはや石油はございませぬ・・・ここで申し上げる事は、めっちゃかっこええおっさんから聞いた話。世界を股にひっかけてるかっこええおっさんです。ほんまの話！ばばん、「200年後は飛行機と自転車の世界。」いやほんととそーらしい。

第2次大戦頃の石油の使用方法がマズかったとか、そんな事もあるらしいけれど日本を代表するかっこええおっさんが言うてたので間違いはない。

自転車を作るうとしてはや4ヶ月。いやあ～、遅々として進みません。

ガ、出会い運は◎。過去に自転車をつくっていた工場のおっちゃんからは「兄ちゃんの欲しいもん、も一作ってないケド転がってると思うから拾いに来い」と言ってもらって嬉しい限り。あとはめちゃ楽しいドラえもん級の発明家に会ったりしてます。

8月初旬には浪速自転車に対し早期納車を求める会という消費者運動が立ち上がったりましたが、秋納車という事でまとまりました。

雪降る秋、お雑煮喰う秋、そしてつくしが土の中から頭を出し桜が芽吹く・・・秋。



この自転車！！どなたの??

9月4日 扇町公園で催されていたバイクサマー2005に参加してた人なハズ！わかります、そのカスタム、美意識！！自転車バナシしたいっすご一報下さ～い
naniwa-jitensya@hotmail.co.jp

ライトハウスレポート第3部

飯島秀司

「The Lighthouse tapes vol.5

～地面に折姫と彦星がある(中編)～

「地面にある織姫と彦星」と、小さくかすれた声で発語した柴田さん。彼女はそれ以後も"声とことばのワークショップ"に毎回参加するようになった。

隔週で開催されるこのワークショップへの参加者はその都度、顔ぶれが微妙に変わり、前回来たある人が今回は来なかったりといった不安定な状況だったにもかかわらず、柴田さんは毎回積極的に参加した。柴田さんの声は注意を払わないと聞き取れない程、あまりに小さく、弱々しかったが、それでも人一倍ワークショップを楽しみながら、彼女はがんばりつづけた。

「ワークショップがある日の柴田さんは朝からわくわくしている」と井野さんから聞いた。柴田さんは、同室の1さんと特に仲がよく、親友と呼べる人を得たライトハウスでの生活は、彼女にとってようやく訪れた心穏やかな日々だったのかもしれない。ちなみに1さんというのは、このコラムの前のエピソード「台風」の1さんである。ある日私が1さんに「今度クリスタ長堀で上田さんのライブと展覧会があるよ」と言うと、「わたしもいきたいなあ」とぼつりとつぶやき、申し訳なさそうに、切なく笑った。

そんな1さんにもライトハウスを修了する日がやってくる。残された柴田さんは1さんに宛てた詩を書いた。そう、彼女は詩を書いたのだ。

私が柴田さんと会った最期の日のワークショップで、柴田さんは唄をうたった。うたった唄は「若者のうた」。うたったといっても、柴田さんの声はとても小さいので、ワークショップ参加者のみんなが応援した。みんなの声が合唱になった。井野さんが耳をそばだて、柴田さんのことばを聞く。「次回のワークショップではがんばって1さんに宛てた詩を朗読してみたい」とのこと。私はとても嬉しく思った。ワークショップをつづけてきてよかったと。しかし次の回のワークショップに、柴田さんの顔はなかった。ライトハウスから出なければならなくなった、と聞いた。癌が見つかったようだ。(つづく)

最後の日

加久裕子

8月23日に祖母が亡くなった。祖母は温厚で「ありがとう」をたくさん言う人だった。

息子である父が喪主となり、家で葬儀が行われた。まだ残暑残年中、300人も人が列を作った。

私達家族は父に並び、祖母が生前お世話になりましたと何度も頭を下げた。こんなにもたくさんの方が祖母と会い、何らかの言葉を交わしたかと思うと、人と人との繋がりを強く感じた。

祖母の棺おけの中に皆が花を入れてくれた。大好きだった着物が一緒に入れられた。最後に父が真っ白い百合の花束を入れる。「お母さん、ありがとう」祖母の前で父が小さな男の子に見えた。

黒い参列者を前に父が詠む言葉は詩のようだった。「母は舞を愛し、唄を愛し、そして酒を愛し・・・私はさよならは言いません。いつてらっしゃいと見送りたい」私は涙が止まらなかった。

喪主の最後の務めは火葬するためのボタンを押すことだった。父はその前で少し気持ちにつまり、「お母さん、いつてらっしゃい」とボタンを押した。

骨になった祖母を皆で拾い、頭を父と母が拾った。最後の日、家族の繋がりと、人は人のなかで生きることが深く強く感じた。本当にとてもいいお葬式だった。

もーれちゅ!マウス絵道場

絵：のぞ

文：剣



上田家がお墓を建立したらしい。しかも本の形ですよ！裏側には家族それぞれが好きな一文字を彫った。父は「直」母は「草」長女假奈代は「詩」次女のぞみは「B」。「BOOK」の「B」ですか？ときくと、「BEER」の「B」です、と言う。墓の中まで酒のことだけ考えてるであろう人生って男らしくて最高!!(つ)

日常再編集

阿佐田亘(a.k.a.大和川レコード)

「人が出会いあうシステムづくり」僕がP.P.P.P.C.B.N.(cocoroomで行われるジャンルレスブックイベント)のブックिंगマネージャーになってかれこれ2年。いろんなアーティストをブックングしてきた中で、最近ふと気づいた現象(?)がある。以前に共演したアーティスト同士が親睦を深め、互いのP.P.P.P.出演の日に観客として訪れたり、またお互いが自主イベントに誘いあっている。

イベント業をやっている身としては当たり前前の光景かもしれないけど、そのことを最近しきりに感じるようになった。それ以来、出演者が出演を終えた後、彼らと彼らの表現を今後どう展開していくか、どんな場所で展開するのがよいか、誰と繋いであげれば彼らの表現向上に貢献できるかなどを、以前より一層意識するようになると同時に、思い返せば自分もこうやって多くの場や人によって、さらなる境地へと繋いで頂いてなんとか今までやってこれたんだなと感じ入る。

ある意味では、自分は表現をするために人と繋がっているのではなく、人と繋がるために表現をしているのだと思う。

しんどいときもあるが継続するのも悪くないかも。

大和川レコード

79年1月1日大阪生まれ。日常行為と表現の境界、社会とアートの繋ぎ目に触れつつ、パフォーマンス、インスタレーション、映像、音声メディア、地域プロジェクトからNPO運営まで、多様なアプローチで作品を制作し続ける。

<http://www.geocities.jp/endeavor0203/>

today's 16/365

この音、みんな、聴こえてるんですか？

採取日時：2005年8月28日(日) 16:55

採取場所：ココルーム事務所

昔、ガンジャをきめたときに「自分だけ効いてるのかな」と考えだすとパッドトリップをして苦しくなるので「みんなと同じだけ効いてるんや」と思うようになった。深呼吸。この音はあなたにも聴こえているのだと思う。かすかな何か

P YOUR EARS booking exhibition CHIMES

阿佐田亘

■05/07/17~05/05/29

美術家 ジロー・オオクラと
詩人 上田假奈代のコラボレーション展覧会
野村国際文化財団助成事業「線とことば」

ジロー・オオクラのクスノキの作品と上田假奈代のことばの作品を展示。

「シンプルに繰り返す無心の行為/過程にこそ意味がある」と考えるジロー・オオクラの作品は、無駄な部分が微塵もないミニマルな作品。すべてが一本の線を彫る、引くといったシンプルな作業と緻密な再編集からなる作品だ。一方、上田假奈代の作品は一本のテープの上に点字が果てしなく並ぶ作品。

どちらも一見すると無機質な要素に溢れているようにも見えるが、お互いの作品を作るプロセスの中で選びとられた素材の質感(クスノキのそれであったり、テープに込められたテキストであったり)を感じるにつけ、そのミニマルの奥に、限りなく人間的な、作家の「愛」のようなものを感じることできた。

初日のドローイングワークショップで、完成した白布の作品(参加者全員で線を引いた布作品)、CD作品(その日の様子が編集録音され、かつ参加者によって盤面に線が引かれた音源)を見るにつけ、聴くにつけ、それを作った行為そのもの、コミュニケーションそのもののなかで育まれた「愛」(「愛」ということば以外、良い表現が見つからないのだ)自体がこの展覧会の目的であり、その過程を過去に何度も多くの人と様々な形で、共有、体験してきた二人のアーティストであるからこそ、作品に秘められた暖かさが自然にこぼれてくる展覧会だったと思う。



ライブラリよりわたしの一冊

上田假奈代

自分の仕事をつくる

西村佳哲
(働き方研究家) 著
晶文社刊 1900円

仕事って何やるの？
ふと考えてしまう
あなたへ：★★★★



誰にも頼まれてもないのにに詩人を仕事にしようとしたわたしは、つねづね「仕事って何やるの？」と考えている。詩人は資格制度ではないので、名乗れば外向きには通用する。けれど、本当のところ名乗らなくてもよいのだと思っている。なぜなら世界は無名の働き手によって存在しているからだ。無名の働く者によって社会は成り立つ。みんな「いい仕事をして役に立ちたい」と本心は思っている。ただ、あまりに効率化や利己主義にまみれ、あきらめたくなるほど勤労意欲は低下する。

著者は「仕事は自分を社会と関係づける重要なメディアである。(略)会社とは「仕事」という商品の在庫をかかえたスーパーマーケットのようなものだと考えてみる。(略)私たちが会社から仕事を買っているとしたら、そこで支払っている対価は何だろう。それは「時間」である。そして時間とは、私たちの「いのち」そのものである。」と言う。

世間では「会社に入る」という言葉が用いられるが、正確には「会社に勤める」のはずだ。に入った会社に生涯を預け、会社の愚痴ばかり言う人ほど会社を辞めない。実のところ期待の先は、自分の人生であって、会社ではないはずなのに。たしかに「仕事」はこの資本主義社会の大きな傘のしたにある。その枠組みのなかで、反旗をひるがえすよりもしたことがある。いま手元にある「自分の仕事」を自律的にとらえ、学びつづけ、人生を拓きつづけることだ。

●ココルームライブラリに「就労支援本棚」ができました。やみくもに「就職しよう」ではなく、仕事と自分のことをじっくり考えたり、社会人基本マナーを学んだり、いろいろ役立つ本棚です。

どうでもいいことある記念の瞬間

恋愛研究会。の大変どうでもいい写真日記。

こんにちは。みなさんこんにちは。こんにちは。こんにちははみなさん。こんにちは。頼まれてもないのに、どうでもいい笑いを適当に追求しているスカムバンド「恋愛研究会。」が、結成してから知らぬ間に随分企画をやりましたので報告します。



3.21 初興行

恋愛研究会。ファーストギグ。この日、不動のフロントマン、イトウタカーキーは、即興演奏にあわせ、今時あり得ないヤンキー画のライブペインティングを敢行。これが後に「タカーキヤート」としてアート界に一石を投じること。



4.15 クラブ進出

恋愛研究会。がクラブイベントに進出(もちろん自主興行)。聴きたくもない客にカラオケを押し付けるコツリさんと山田さん。



5.21 人間性クイズ

好きな女の子とのデート～告白までを全てビデオに撮られるというドッキリにあったタカーキー。GWの悪夢もこの日笑いに昇華。



7.3 フンクボーイ

事故もあつたりした初めてのツアー。チルアウト中のロマン優光さんは、スーパーロボット対戦のメモリーカードをマン喫に忘れた。

劔樹人(恋愛研究会。)



8.25 エアギター
夢中夢企画にタカーキーがゲスト出演。CDを流しながら、インプロビゼーションのエアギターという超人技を披露。



8.27 ドッキリ裁判
コツリがメンバーの彼女と浮気していたことがステージ上でばらされる。共演のチンボーは最高のどうでもよさでした!

恋愛研究会。

フジロック出演歌手から特殊芸人、ホイチョイ直撃世代サラーマンまでが一同に会す「ドス黒いドブの中に咲く一輪の蓮の花」こと世界初ストロングスタイルスカムバンド。即興演奏に合わせてヤンキー・オリジナルヒーロー・アイドルの似顔絵などを描くライブペインティングや、ドッキリビデオ・全裸借金返済ビデオの制作など、アート/映像作品に対してのアプローチも盛んに行っており、「たけしを失ったたけし軍団」と評されるライブがごく一部で話題に。

劔の参加するバンド「ミドリ」がCDを出します。

「パンコちゃらわパンクじゃポケカス!!!」

恋した彼女は天使か、悪魔か...?
あなたに贈る、歪んだラブソング!!

あふりらんぼ、オシロイペンペンズ、ワッツンソソビ、ZUINOSINと、次々と異才を輩出する関西のアンダーグラウンドシーンから新たな刺客が登場! 今や東京でも男子と女子の股間とハートを鷲掴み! なメス豚の姿を借りたピッチ・後藤まり子率いる、大阪のいびつなJUDY AND MARY「ミドリ」! 男子をギンギンにさせ、女子には涙を流させる、そんなエロティックでロマンティックなライブが急激に噂となって、今年は円盤ジャンボリーやカモガワ・ロックフェスなど、数々のイベントから多数の出演オファーが殺到!

ギューンカセットより
2005年11月25日発売予定
CD95-31
税込価格¥1,680 (税抜価格¥1,600)

第三回 大阪・アート・カレイドスコープ cocoroom参加イベントのお知らせ

"do art yourself
~すべての人は表現者~"

■こえと旅(dialog)
11/26(土) 15:30~17:00
@大阪府立現代美術センター展示室A
出演：藤本由紀夫 / 渡辺昭二 / 大和川レコード

■あの窓にさようなら(performance)
11/27(日) 15:00~16:30 @cocoroom
出演：YukoNexus6 × 大和川レコード

■教育スモウキング ~土俵1~(performance)
12/02(金) 19:00~20:00
@大阪府立現代美術センター展示室A
出演：高嶺格 × 大和川レコード × 上田假奈代

■教育スモウキング ~場外編~(dialog)
12/02(金) 20:00~21:00
@大阪府立現代美術センター展示室A
出演：同上

■教育スモウキング ~土俵2~(performance)
12/10(土) 19:00~20:00 @cocoroom
出演：同上

■視覚障害者と晴眼者によるアート参加プログラム
読歩project特別編 ~線のからだ、そしてことば~(dialog)
12/3(土) 11:45~13:30
@大阪府立現代美術センター 展示室A及び展示室B
※11:45分に大阪市営地下鉄谷町4丁目駅北改札集合
※要予約(定員:20名 予約先:cocoroom@kanayo-net.com)
出演：ミュージアム・アクセス・ビュー / 光島貴之 / 飯島秀司
ゲスト：北村成美



(光島貴之 作 連作「repeat」より)

■読歩project
線のからだ、意志のことば(exhibition)
11/25(金)~12/17(土) 12:00-21:00 (土曜日は17:00迄)
@大阪府立現代美術センター 展示室A
展示作家：光島貴之 × 上田假奈代

■あいたい人よ(performance)
12/09(金) 17:00~18:00
@大阪府立現代美術センター展示室A
出演：エメスズキ × むすび × 上田假奈代

■あいたい人よ(dialog)
12/09(金) 18:00~19:30
@大阪府立現代美術センター展示室A
出演：同上

むすび：西成地区に住むホームレスを経た生活保護受給者による紙芝居集団。

■生まれておいで(performance)
12/11(日) 15:00~16:30
@cocoroom
出演：エメスズキ × 上田假奈代

■関係性と身体、ことば(dialog)
12/17(土) 14:00~15:30
@大阪府立現代美術センター展示室A
出演：砂連尾理 / 寺田美佐子 / 上田假奈代

上記企画全て入場無料!!

主催：大阪府立現代美術センター
企画・運営：大阪アートNPOコンソーシアム
コーディネート：特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

大阪アートNPOコンソーシアム：

NPO法人大阪アーツアボリア / 應典院寺町倶楽部
特定非営利活動法人キャス (CAS)
NPO法人こえとことばとこころの部屋 (cocoroom)
NPO法人 DANCE BOX / NPO法人Beyond Innocence
NPO法人記録と表現とメディアのための組織 (remo)
NPO法人地域文化に関する情報とプロジェクト (recip)

第三回 大阪・アート・カレイドスコープ協賛事業 ■風倒木地 vol.4 ~映像×身体のネクストを探れ~

11/05(土) AM0:30-AM6:30 @九条シネ・ヌーヴォ
2500円(ポップコーン付き)※学割で2300円
完全予約制 9/5より受付開始(cocoroom@kanayo-net.com tel.06-6636-1612 90名まで)

映画館を会場に行なわれる、映像パフォーマンスの祭典。
出演：大木裕之 / ウィット・ボンニット / あらかじめ決められた恋人たちへ with ロカベニス / 佐伯誠之助
大和川レコード / 恋愛研究会。 / 雷蔵(マツダユミ × ヨシムラエリ) / 佐藤武紀

主催：特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋
コーディネート：阿佐田亘(a.k.a.大和川レコード)
後援：シネ・ヌーヴォ、planet studio +1
協賛：大阪府立現代美術センター

cocoroomは "就労支援カフェコロールム" にリニューアルします!!

そもそも「生きてるって、社会との関係性ちゃうん」「仕事から自分をみつければいけるんちゃうん」「仕事って表現なんじゃないの」ということばからはじまり、文化芸術に携わるNPOとしてこの3年間「表現と仕事と社会」をテーマに取り組みつづけてきました。

●インターネットジョブカフェに
カフェスペースにウインドウ3台 マッキントッシュ1台 設置しました。

●就労支援本棚
就労研究者や起業家に相談を求め、おすすめの本を揃えました。うちのスタッフもべらべらめくっては「勉強になるなあ」と深くうなづいています。「仕事とは何か」をいろんな角度から考えることができます。就職をさがしている方も、ついひきこもりがちな方もまた仕事なんてなくだるいなと思ったりするお勤めの方におすすめで。

●ぼえ犬通信はしばらく、就労支援特集
ぼえ犬くんも自分の仕事をみつかる決意をかためた様子。いろんな人から「働くことば」をいただきます。

●ホームレス問題
ホームレスの方に原稿をいただいたり、聞き取りを行った、すこしづつ動いています。野宿生活をしながら、表現活動をしている方々を支援しています。

●お仕事支援にまつわるイベント
コロールムを会場にして就労支援カフェを行います。さまざまな職業の方をゲストに招き、ちゃぶ台を囲むようにしてお話をしましょう。また共同企画も積極的に受け入れ中。

就労支援カフェコロールム ぼえ茶会 生きる仕事シリーズ 19:00 入場無料 聞き手:上田假奈代

「仕事」とは何だろう その意欲は一体どこから生まれるのだろう。さまざまな職業の方をゲストにお招きし、その人が選んだ仕事にまつわるお話をお聞かせします

9/15(木) お金ってなあに?

ゲスト：秋田佳津(ファイナンシャルプランナー)

9/24(土) 14:00 入場無料
第一歩。自立への旅。

トーカー：小川恭平(キョートット出版)
小川てつお(アーティスト) / 市村美佐子(アーティスト)
聞き手:上田假奈代

自分で生きる、人と生きる 16:00
~路上、公園に生きるアーティストたち
料金：1500円(1ドリンク別)

出演：小川てつお / 市村美佐子 / 橋安純(野宿生活パフォーマー)
むすび(紙芝居劇) / 長居公園テント村から(予定)
共催：キョートット出版、NPO法人cocoroom

10/13(木) 舞台上で生きる
ゲスト：川浪ナミヲ(役者、演出家)

11/8(火) いい塩梅で生きる
ゲスト：浜村不純(3つの顔)

12/20(火) コミュニケーション域をひろげる身体表現の仕事
ゲスト：エメスズキ(ダンサー・振付家)

1/12(木) 実践する生き方
ゲスト：いわはしゆり(表現教育実践家)

就労支援カフェコロールム ジョブジョブパバパ しごと作戦会議室 19:00 入場無料 聞き手:金友祐人

サラリーマン、大工さん、お医者さん、社長さん、いろんな職業あるけれど、自分にあう仕事って何だろな「働くって何やるの?」人が生きていくための大切な表現!働いてるときに大切にしていること、知らんまにやってもーてること、みんなのはなし聞いてみよ。なんか発見あるかもしれん。ジョブジョブパバパみんなて考えよう働くこと。集え!お悩みスト

9/27(火) ゲスト：島田裕加(ヘア&メイクアップスタイリスト)

10/27(火) ゲスト未定

11/22(火) ゲスト：香山哲伸(行政書士)

12/13(火) ゲスト：六車義方(発明家)



インターネットで仕事探し。お気軽にお立ち寄りください。(無料)

9/13(火) 18:30start 21:00close
「起業家カフェ」出前カフェin フェスティバルゲート
当日お茶菓子代：1000円

共催 おおさか元気ネットワーク
釜ヶ崎のまち再生フォーラム
申し込み方法

氏名、所属の団体、電話・FAX番号を記入の上、
おおさか元気ネットワーク事務局宛てに、
FAXまたはメールにてお申し込みお願いいたします。
特定非営利活動法人 おおさか元気ネットワーク
大阪府寝屋川市東大和町11番1号
電話&FAX /072-839-3527
E-mail:info@osaka-genkinet.or.jp

※就労支援カフェコロールム：
本事業は大阪市がNPO法人こえとことばとこころに委託して実施しています。

大阪現代芸術祭プログラム 声は伝えるシリーズ

cocoroomから飛び出す事業

Schedule(9月-11月)

P.P.P.C.B.N. cocoroom booking night 19:00 1500円+1d

9/16(金) my baby shot me down/ Ricotta / 他
9/18(日) 狛犬マキプロデュース「狛犬な夜vol.8」
中野ドニア善子/あらいなお with 嶋村よし江/コマイナース

9/23(金祝) eme suzuki DAN@ヨPACEプロデュース
「DAN@ヨ Exhibition vol.2」
※二回公演制 1部18:30 2部20:30

9/30(金) 細胞文学 / guitar noiz orchestra / 他
10/16(日) ROPEMAN(27)プロデュース
「ラウンドガールとロープマン」

※二回公演制 1部14:30 2部18:30
イクラレッド烈斗 / かのうとおっさん / 劇団なるも
虚しい勢い / 名乃勝之 / 若旦那家康

10/18(火) 出演者募集中! 10/20(木) 出演者募集中!
10/21(金) 出演者募集中! 10/25(日) 浦井慎 / 出演者募集中!
11/4(金) 出演者募集中! 11/18(金) 出演者募集中!

Chimes ~prick up your eyes~ 12:00~22:30 1dオーダー
11/7(月)~11/12(土) (仮名)空間悠々劇的エキシビジョン
11/24(木)~12/7(水) 駒野公仁子写真展「ニチジウソウイ」

上田假奈代の日常きもの指南 19:00~21:00 1500円
9/21(水),10/4(火),28(金),11/15(火),29(火)
要予約:ココルームまで(先着5名)

BOOKS ARCHIVES 20:00 入場無料(要1dチケット)
上田 10/11(火)第67夜 11/14(月)第70夜
ウォン 9/20(火)第65夜 10/24(月)第69夜 11/21(月)第71夜
上田/ウォン 9/26(月)第66夜 10/17(月)第68夜

Creation Goes On 19:30 出品者/見学者ともに500円+1d
毎月一週目の月曜日(変更あり)に開催される、現代美術をはじめと
するあらゆる作品表現行為の自由参加型プレゼンテーション企画
第7回目 10/3(月) 第8回目 11/7(月)
※出品者は18:30-19:00申し込み受付 担当:阿佐田
wataru@kanayo-net.com

明治安田生命社会貢献プログラム「エイブルアート・オン
ステージ」参加事業 ほうきぼしprojectワークショップ
毎週火曜日 13:00~15:00

参加者はいつでも大募集。ボランティアスタッフも募集中です。
参加アーティスト:コマイナース、飯島秀司、上田假奈代ほか
お問い合わせ:cocoroom@kanayo-net.com

9/20,27,10/11,25 11/8,22 @cocoroom
10/4,18,11/1,15 @長居障害者センター
11/29 @阿倍野区民センター

浪速自転車 業務用自転車改造計画について語ろうvol.8
20:00~22:00 入場無料(要1dオーダー)

9/21(水),10/31(月),11/29(火) 要予約:ココルームまで(先着5名)

※その他、就労支援カフェ事業、第三回・大阪・アート・カレイド
スコープ、現代芸術祭プログラムのスケジュールは別頁参照

■Farfasha bil Arabi ~アラブ音楽で憂さ晴らし~
9/17(土) 18:30~22:30
前売り:1500円(1d付) 当日:1800円(1d付)

■パレスチナ難民の声を聞く~「日本人フェミニスト」の立場から~
9/19(月祝) 16:30~18:30 1000円(1d付)
ゲスト 清末愛砂(ジェンダー・女性学/大阪大学大学院生)
(info)ysige@hotmail.com(パレスチナの平和を考える会)

■「仏法」のお庭 一愛すること、施すこと一
9/22(木) 19:00 500円(お茶代)
おはなし:秋田光彦(大蓮寺住職・應典院主幹)

■Viva☆チョコBaby
10/1(月) 18:30 1000円+1d
出演:チョコBaby(里郁美/丸山千穂)/他
(info)choco.baby@hotmail.co.jp

■福島泰樹短歌絶叫コンサート 望郷 ~塚本邦雄と春日健よ、寺山修司よ!
10/5(水) 19:00 前売り3000円 当日3500円 共に+1d
出演:福島泰樹/島田篤/柴田菜穂/岸田浩一
(info)orepeko@nyc.odn.ne.jp

■劇団和「熱海殺人事件」(作:つかこうへい 演出:山本隆弘)
10/9(日)・10(月祝) すべて1500円+1d
9日(1部)15:00 (2部)19:00
10日(1部)14:00 (2部)18:00
(info)info.yamamoto@infoseek.to

10/22(土) 18:30 @cocoroom
新世界アーツパーク未来計画カフェ ~創造力とアートとまち~
フェスティバルゲートの未来について4つのNPOと語り合おう

料金:800円(1d付)
主催:新世界アーツパーク未来計画実行委員会
協力:「創造産業と都市再生」研究会
(代表:佐々木雅幸・大阪市立大学大学院教授(創造都市研究科))

■ココロックフェスティバル
10/23(日) 1500円+1d
出演:明日は明日のコルベツ / スティーブジャクソン / 他

■街角幻想奇譚
10/29(土) 19:00 30(日) 13:00 17:00
前売り1200円 当日1500円 学生1000円(すべて1d付)
作・演出:仲原時雨丸(ユニットC howder?)
出演:恵本ラム/南野海/井上俊和/他
(info)afddp816@oct.zaq.ne.jp

■ハナイワシ企画 正しいカメの乗り方
11/5(土) 16:00~20:00 11/6(日) 13:30~18:00
1000円(1d付)☆おみやげ付き!

■劇団空間悠々劇的
11/11(金)・12(土) 時間料金内容詳細未定

※1d表記のものは500円ドリンクチケットです。
※すべての開場は開演の30分前です。

詩の学校
受講料:1000円(筆記用具、ノート持参) 講師:上田假奈代

@應典院
9/14,28,10/12,26,11/9,30 すべて水曜
19:30~21:30 単発受講可
主催:NPO法人cocoroom 共催:應典院
http://www.utenin.com
大阪市天王寺区下寺町1-1-27 tel.06-6771-7641

@京都芸術センター
9/29,10/27,11/24 すべて木曜
19:00~21:30 単発受講可
主催:NPO法人cocoroom 共催:京都芸術センター
http://www.kac.or.jp
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2 tel.075-213-1000

声とことばのワークショップ
9/9,10/14,10/28,11/25 すべて金曜
13:30start 参加費無料
ナビゲーター:飯島秀司(音楽家)
会場:視覚障害者リハビリセンターライトハウスジョイフル
センター 大阪市鶴見区今津中2-4-37 tel.06-6961-5521
アクセス:JR学研都市線放出駅下車徒歩15分

飯島秀司 infomation
9/17(土) 19:00 1500円+1d
出演:飯島秀司 / 中岸KAYO / 他
会場:テンイヤーズアフター 大阪市中央区東心斎橋2-5-32みわビ
ル3F tel.06-6213-0205

大和川レコード infomation
(仮名)PaperBagLunchbox レコ発
10/10(月祝) 時間料金詳細未定 会場:raindogs
大阪市北区神山町8-18 tel.06-6311-1007

恋愛研究会。の、第一回! どうでもいいことある記念の瞬間!
10/14(金) 20:00 前売り2000円+1d 当日2500円+1d
出演:恋愛研究会。/LLocal太郎/ロマンポルシェ。/ウルトラファッカーズ
オシリベンベンス/ミドリ/HOSOME/中年ジャンプ/佐伯誠之助/いしくんぼ
阿佐田亘(大和川レコード)/大王(イェストロイド) and more!
会場:raindogs
(info)tsurugi@kanayo-net.com

危機振動!
10/16(日) 時間料金詳細未定
出演:石川浩司(ex たま) / あらかじめ決められた恋人たちへ / Djamra /
and young./SUSPIRIA / ばきりノズ / 尻男 / 大和川レコード / 砂島NANI
会場:raindogs
(info)asaavis_records@hotmail.com

※その他、第三回 大阪・アートカレイドスコープ参加情報は別頁参照

■せかいのせなかのことは
11/19(土) 19:00 20(日) 15:00 ※アーティストトークつき
前売2300円 当日2800円(共に1d付き)

出演:
砂連尾理(振付家・ダンサー)
上田假奈代(詩人)
大和川レコード(アーティスト)

照明:三浦あさ子
※10/19(水)19:00より試演会を行います。(入場無料)

■虹のうた
12/22(木) 20:00
前売2000円 当日2300円(共に1d付き)

出演:北村成美(なにわのコリオグラファー)
飯島秀司(音楽家) ほか
作詞参加:上田假奈代(詩人)

■屋上
日時:2006年1月28日(土)
一回目/15:30
二回目/19:30
前売/2000円 当日/2500円(共に1d付き)

出演:藤本由紀夫(サウンドアーティスト)
大和川レコード(アーティスト)

※会場・お問合わせ:ココルーム
主催:大阪市/ (財)大阪都市協会
企画制作:特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

文化庁言葉体験事業 / 文部科学省委嘱
「豊科文化体験プログラム」事業

■安曇野の声とことば、
音の風景ワークショップ「ことばと歩く」
9/18(日)、19(月・祝)、10/22(土)、23(日) 全4回
13:00~16:30 料金無料
集合場所:豊科近代美術館

講師:上田假奈代(詩人)、宮永愛子(美術家)、大和川レコード(アーティスト)
対象:小中学生や高校生、大学生から大人まで(親子で参
加できます) 定員:15人程度
(info)お電話で豊科近代美術館(0263-73-5638)

「ひとりひとりのことばづかいを意識すること」
長野県安曇野・豊科の町を、子どもたちと散歩し、その景色の中
から生まれる会話や音を体験し、歩きながら詩をつくる。
散歩の様子は録音され、最後に美術館にて行なわれる朗読発表会
で再生される。子どもたちに日常の風景/会話の中から生まれることば
を認識することにより、もっと自由に自然な発語をもって、詩の制
作、朗読ができることを学んでもらう。

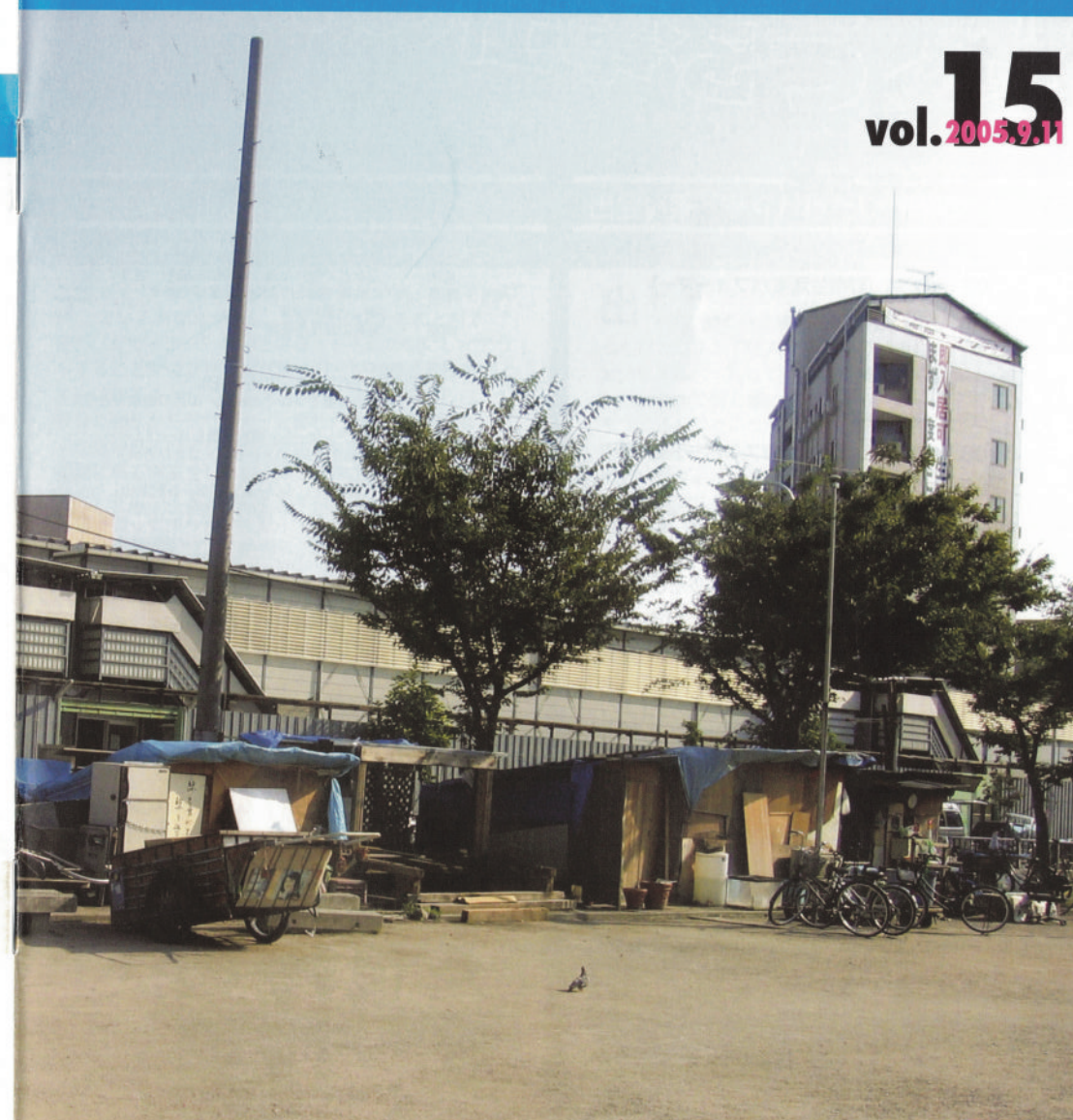
FREE

COCOROOM 犬通信

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋
http://www.kanayo-net.com/cocoroom/

ぼえ犬通信

vol.15
2005.9.11



ぼえ犬通信

15

特集 自分の仕事をつくる

http://www.kanayo-net.com/cocoroom/

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋
〒556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
http://www.kanayo-net.com/cocoroom/
※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
※南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
※阪堺電軌鉄道「南露町駅」下車 徒歩すぐ
※駐車場(有料)

就労支援カフェ事業インターンシップ。アートの現場で働いてみよう!!

PPPP.C.B.N. cocoroom booking night
ブックイングマネージャー募集!!

出来る事から動かしてゆく
動かしながら考える
アートマネージメントの第一歩へ

ココルームカフェも
スタッフもどむ

※cocoroom@kanayo-net.comまで

於集電脳女流詩人
交流向上百花繚乱
詩的空間月毎更新
随時求新同胞
愛

蘭

Web 女流詩人の蘭の会

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/

Cocoroomでは、寄付をつっています。

運営のための寄付をつっています。ご寄付いただいた方には、お名前を「ぼえ犬通信」に掲載させていただきます。3000円/1口 何口でも結構です。

宮前の人様/グラマコ様/アサイサル様/アキタカス様/田中乗子様
ありがとうございました。

三井住友銀行 天王寺駅前支店 普通1585265
トクティヒエリカットウホウジンコエトコバトココロ/ハヤ

郵便振替 記号01090-5-48059
cocoroom代表 ウエダカナヨ

むすびプロジェクト 素顔一束運動
ご協力ありがとうございました!

「むすび」とは/これまでココルームでとりくんできた「reading THE BIG ISSUE 大阪・紙の芝居劇場」第二回三回に出演し、笑いと感動をあたえてくれた紙芝居劇のおじさんたちの集まり。平均年齢74歳。*一緒に紙芝居をやってくれる仲間*絵を書いたり、道具をつくりたりお手伝いをしてくださる方*事務所を訪れてメンバーと気軽にお話してください。

ブログ:http://musubiproj.exblog.jp/
※紙芝居・釜ヶ崎見学ツアーの申込みは
ココルーム むすびプロジェクト係

cocoroomが
ますます使いやすくなって **劇団パック「CO屋」**

co屋5日間パック(木金土日)15万円
co屋4日間パック(木金土日・金土日)13万円
co屋3日間パック(金土日)10万円
co屋2日間パック(土日)8万円

1日利用の場合:5万円/1日(夕方17:00からの使用は3万円)
info:ココルーム tel.06-6636-1612
tel&fax06-6636-1662
cocoroom@kanayo-net.com
担当:飯島、阿佐田、上田、劔(つるぎ)

- *ステージ数問わず一律料金
- *使用時間10:00~22:30*仕込・ばらし含む
- *月曜は18:00まで*機材管理料含む(音響スタッフはつきません)
- *稽古使用は3万円*その他の曜日可
- *お客様には入場の際1ドリンク(500円)別途必要
- *情宣協力いたします!

- キャバ椅子席:60 ●舞台スペース6×6m
- 音響システム完備 ●照明:調光3系統(店舗用)
- 定める使用規定にもとづいてください。
- わたくしはココルームまでお問い合わせください。

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

COCOROOM

zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
http://www.kanayo-net.com/cocoroom/

※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
※南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
※阪堺電軌鉄道「南露町駅」下車 徒歩すぐ
※駐車場(有料)

■新世界アーツパーク http://www.sap-s.jp
バーター依頼/ココルームでフライヤーやフリーペーパー配布協力いたします。また、「ぼえ犬通信」を配布させていただけるお店の方、ご連絡下さい。

就労支援カフェココルーム 本事業は大阪市がNPO法人こえとことばとこころの部屋に委託して実施しています。

「自分の仕事をつくる」
仕事を「探した」ではなく「つくりだした」10人の話

就労支援
カフェ
ココルーム
営業開始!